日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２５期・10巻　　２０１９年　12 月号　　ＮＯ．220

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

初冬の山

山行ＮＯ．１８４４
２０１９．１０．３１
赤岳

１２月度例会　　２０１９．１２．０１　　生協2F　１６：００～

１．　経過報告

１０月３１日（木）	個人山行	赤岳（日帰り）＝２名
１１月０６日（水）	伊豆巡礼	
１１月１０日（日）	あさぎり山の会	３０年記念パーティー・・・富士宮「フォレストヒルズ」　出席＝後藤　全体＝約５０名
１１月１６日（土）		会山行＝西丹沢＝御正体山・東尾根　５名
１１月２０日（水）		まったりハイク＝鳳来寺山　５名
１１月２３日（土）～２４日（日）		会山行＝立山（中止）
１１月２４日（日）	東部ブロック交流ハイク	山梨・羅漢寺山＝４名（全体４７名）
１１月２１日（木）～２５日（月）	個人	四国＝東赤石岳～西赤石岳　２名
１１月２７日（水）		伊豆ウオーク
１１月３０日（土）		会山行＝愛鷹山ブナ観察

２．今後の予定

１２月０１日（日）	１２月例会
１２月０６日（金）～０７日（土）	会山行
１２月１１日（水）	伊豆巡礼
１２月１４日（土）	会山行
１２月１８日（水）	伊豆ウオーク
１２月２１日（土）	忘年会・会山行・・・富士山・二ッ塚～温泉～合谷宅～ソバ打ち～忘年会＝担当・後藤
１２月２７日（金）～２９日（日）	冬山合宿・・・・・メンバーで決める＝担当・後藤

２０２０年

０１月０４日（土）	会山行	電車で行く山＝岩戸山（予定）下山後、三島で新年の集い（井上＝誕生日祝）
０１月０８日（水）		伊豆巡礼
０１月１１日（土）		会山行
０１月１７日（金）～１８日（土）		個人山行
０１月１９日（日）		第５回理事会
０１月２５日（土）		
０１月２６日（日）	会山行	県連交流山行＝沼津ＡＬＰＳ　徳倉山（電車で行く山）

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

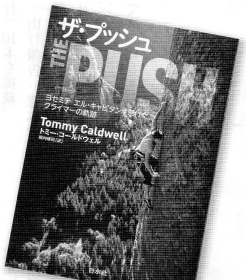
２月
０２月０１日（土）～２日（日）　　山筋体操講習会
３月
０３月０１日（日）　　第５４期・県連総会

１１月１０日（日）
あさぎり山の会
３０周年レセプション

********** BOOK END **********

ザ・プッシュ：ヨセミテ エル・キャピタンに懸けたクライマーの軌跡

トミー・コールドウェル 著
堀内瑛司 訳
白水社
¥3,500＋税
四六判 450P
2019年8月刊



巨大な花崗岩の一枚岩に懸けたクライマーの自伝 挑み続ける人はカッコいい!!

著者のトミー・コールドウェルは、世界でもっとも優れたビッグウォーラー（大岩壁を登攀するクライマー）として広く知られている。２０１４年フィッツ・ロイの完全縦走でピオレドール賞を受賞、翌２０１５年には、世界でもっとも難しいビッグウォール・ルートとされている北米ヨセミテ・エル・キャピタンの「ドーン・ウォール」をケヴィン・ジョルグソンとともにフリー初登！（19日間／足掛け7年）この話は耳にまだ新しく、２０１８年にはそのまま「ドーン・ウォール」という記録映画にもなり、あちこちの関係筋で上映され話題を呼んだ（私は見逃してしまった）。

本書は、そんなトップクライマーが自らの生い立ち（…拉致されたり指先を失くしたり離婚したり…いろいろあってドーン・ウォール初登に至るまで）をありのままに書いた自叙伝。（ちなみに、クラック愛好者に大人気のシューズ「ＴＣプロ（スポルティバ）」の「ＴＣ」は、トミー・コールドウェルの略なんだよ。知ってた？　よね）

訳者の堀内氏は、9月から公開されている映画「フリーソロ」のアレックス・オノルドの著書『アローン・ザ・ウォール』の翻訳者だ。堀内氏のことは以前、本誌「ひと」でご紹介した。最新の訳書である本書のことをうかがうと「〝訳者あとがき〟と〝21章〟だけは、絶対（立ち）読んで！」とのこと。

（本誌・水野奈保美）

「ザ、プッシュ」
ヨセミテ・エルキャピタンに
懸けたクライマーの軌跡

トミー・コールドウェル
３５００－　４５０ｐ

登山時報　11 月号　NO.５３７

３．寄贈会報

「竜爪Mini」静岡勤労者山岳会　１１月号　Ａ４　Ｐ３　電子版
県連・ブロック報告＝安全登山教室、南アルプス写真展、県連交流登山・徳倉山、中部ブロック・ふれあいハイク。事務局＝忘年山行、名簿公開、登山届、山中トイレ問題、会装備借用。会山行実績・山行計画など。報告＝赤岳（県界尾根～天望荘泊～真教寺尾根）、パノラマ台、下の廊下＝事故あった。入会者紹介。

「あさぎり」あさぎり山の会　ＮＯ．317　11月号　Ａ4　Ｐ19　表紙・裏表紙はカラー・紙製本
巻頭言、スケジュール、山行計画、山行報告＝茅ヶ岳～金ヶ岳・雨飾山・岩戸山～日金山・大朝日岳・富士山奥庭・五郎山。安全登山講習会、掲示板、など

「くろゆり」三島勤労者山岳会（事務局ニュース）　NO.４７８　１１月１日　Ｐ８　電子版
自然保護デー・廻り目平、定例俳句・鬼ヶ岳、雨飾山。目次、１０月度報告、今後の予定、運営会報告、カレンダー、山行報告、登山計画、登山時報を読もう、など。

「あしたか」沼津勤労者山岳会　１１月号　A４　Ｐ８　紙製本
予定表、計画書、報告＝西沢渓谷、ほか

「のいちご」伊豆ハイキングクラブ　１１月号　NO.386　A4　Ｐ１６　紙製本
巻頭言、カレンダー、計画、登山届、報告＝高水山・岩茸石山・僧岳山、栂海新道、立山、双六岳、栗駒山・高松山（泥湯三山）、立山、磐梯・吾妻・安達太良、乗鞍、運営会報告・事務局だより、など

「山梨山の会」やまなし山の会　１２月号　NO.２６１　P16　電子版
表紙写真・九重連山＝三俣山の紅葉は凄い。巻頭言＝道志村だより、運営委員会・山行部・事務局報告。座学＝冬山遭難と気象。山行報告＝武田の杜、富士山・村山古道、南ア・深南部周遊＝厳しい山を実践、九州の山＝久住・阿蘇、乗鞍＝五色が原「日本初の有料トレッキングコース」とありギック！！だったが、そうでなく「有料ガイドトレッキングコース」だった。ほか、寄贈会報紹介、山行状況、クリップボード、など。

「ハイキングだより」新潟・みちぐさハイキングクラブ　７月号　NO.３０８　Ｐ１２　電子版
尾瀬バスハイク＝会員１７名・一般２名・原の小屋で車座二次会・親睦、要害山山開き、母ちゃんと二人で山歩き＝山スキー試練、スイスだより、７月ハイク予定、白馬岳バスハイク予定、新発田の安全登山講習会。ほか、お知らせなど。（既報）

１１月２０日　白菜初収穫　２ｋｇ

２０１９年度自然保護デーの取り組み

11/22 現在

No	会　　名	観察山域	実施日	参加者	実施内容		
1	伊豆ハイキングクラブ	ーーーーーー	9 月 14 日	14	学習会	地球温暖化	天城の鹿害
1	伊豆ハイキングクラブ	高水三山	9 月 30 日	15			
2	三島勤労者山岳会	廻り目平	10 月 5 日	7	自然保護憲章の読み合わせ		
2	三島勤労者山岳会	ガマスラブ	10 月 6 日	7	昨年の台風被害で立ち入り禁止➡禁止解除後の様子		
2	三島勤労者山岳会	富士山	10 月 5 日	2	登山・自然観察・自然保護憲章の読み合わせ		
3	裾野麗峰山の会	西丹沢各地	9 月 7 日	5	自然度・ゴミの状況・鹿害の点検・自然災害の把握・ブナの観察		
4	駿東山の会						
5	沼津勤労者山岳会	伊豆ジオの予定	実施せず		10/20 予定　台風１９号の被害の為		
6	あさぎり山の会	天城隧道一河津七滝	11 月 17 日	13	伊豆ジオパーク：歴史的価値（自然・文学的な話）・台風 15 号の被害		
7	ふじ山楽歩山の会						
8	清水勤労者山岳会	静岡市安倍川河口	11 月 17 日	4	ペットボトル等プラスチックごみ拾いの海岸清掃ボランティア		
9	静岡勤労者山岳会	付近から		5	４５Ｌのビニール袋２７袋収集		
10	静岡安倍っ子山の会	大浜公園付近までの		3	山よりゴミが多く参加者一同驚きました。		
11	焼津山の会	海岸線　合同実施		2			
12	NMC			2			
13	山登歩勤労者山の会			6			
14	浜松勤労者山岳会						
15	浜松山の会フレンズ						

速報

静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック交流ハイキング
山梨・羅漢寺山（１０５８ｍ）＝４７名

白砂山

伊豆ウオーキング報告書（番外報告）

文・写真　後藤

と　き　　２０１９．０９．２５（水）晴・残暑厳しい
コース　　入間８：２８－千畳敷９：２５～４２－上り返し－富戸の浜１０：５３－休憩１２：００～１３：１５－吉田１３：２７－妻良への歩道入口１３：４４
距　離　　実働５ｈ・１７ｋｍ
参　加　　１７名。

前回最終の入間から出発。9 月末で涼しいかと思いきや残暑は厳しかった。
千畳敷に向かう。林道の上りで早くも汗が噴き出る。
海抜０ｍまで下りて千畳敷着。何回来てもイイところ。浜風が気持ちよかった。

記念写真を撮影。北側の千畳敷は更に良いところだった。
岩壁におかしな模様があり、ここでも記念写真。林道に上り返す。
またまた大汗。富戸の浜目指す。
藪っぽく、先日の台風の倒木が邪魔だった。

急下降で富戸の浜に降りる。浜は様々なゴミであふれていた。
もうすこし奇麗なら素晴らしいところだが・・・。サポーターから緊急連絡があった。Ｉさんが不

千畳敷

調で歩行がままならない状況。熱中症かもとのこと。
ちょうど、沢水が流れていたので、体温を下げる。
入間に戻るか、進むか検討。
富戸の浜は、吉田との中間地点。吉田のがやや短い。
小人数で入間に戻っても十分な措置は出来ない。
結局、皆でサポート出来る吉田に向かった。
熱中症は、重症度によって、次の 3 つの段階に分けられる。

・Ⅰ度：　現場での応急処置で対応できる軽症
　　・・・立ちくらみ（脳への血流が瞬間的に不十分になったことで生じる）
　　筋肉痛、筋肉の硬直（発汗に伴う塩分の不足で生じるこむら返り）
　　大量の発汗

・Ⅱ度：　病院への搬送を必要とする中等症
　　・・・頭痛、気分の不快、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感

・Ⅲ度：　入院して集中治療の必要性のある重症
　　・・・意識障害、けいれん、手足の運動障害
　　高体温（体に触ると熱い。いわゆる熱射病、重度の日射病）・・・ネットから

Ｉさんの症状は、
１．気持ちは悪くない・・・嘔吐感はない
２．脈拍は、休憩中で１００くらい・・・やや高かった
３．体温は計らなかった・・・計るべきだった

富戸の浜を俯瞰

４．息苦しい・・・ドキドキ・ハーハーする
５．足元がおぼつかない・・・ふらつく・・・介助があれば何とか歩行
６．言語は、ハッキリしている
７．大量の発汗・・・この日は、残暑が厳しかった・日なたで３０度くらい
８．生あくび出る・・・熱中症の症状
９．前夜は２０時就寝、４時起床・・・やや寝不足
10．朝食は、しっかり食べた
11．１１時３０過ぎ、自力で排便をした
12．飲料水は摂取したが、固形物は摂らなかった

大体こんな感じだった。富戸の浜で荷物は全てあずけ出発。厳しい急坂がつづく。少し歩き上り休憩を繰り返す。息苦しさを訴える。皆でマッサージをして傘で日陰を作り体力維持に努める。周りは急傾斜なので、とにかく横になれる場所まで頑張ってもらう。この辺りが正念場だった。

一時、背負い上げを考えたが、長身のＩさんは体重があり厳しい。道も狭い。
最悪の場合、外部に救助を依頼するしかないと思った。重篤で緊急を要する場合は、ヘリも考えなくてはいけないだろう。
何とか、ようやく下り気味の平坦地になった。時間は１２時近くなった。
眼下の吉田浜にバスが見えた。サポーターのＫがバスに走り、冷房を最大限にするよう依頼。Ｉさんが便意を訴えたので木陰で排便。これで腸はスッキリしたかも。
Ｉさんを風通しの良い木陰に寝かせ休んでもらう。横になるのが最良だ。KY さんが冷却シップを提供してくれた。これで少し安心した。数名残し、皆には吉田亭で昼食に下ってもらう。サポーターのＫが帰って来た。残ったメンバーはここで昼食にした。Ｉさんは気持ちよさそうに休んでいた。これで何とかなるだろう。良かった。

風通しが良い涼しい木陰で小１時間休んだ。
Ｉさんは、時々、上半身を起こしたり経過は順調だった。サポート隊は、空腹だったのでタイミングは良かった。
１３：１５、食事を終え、Ｉさんも元気回復になったので下る。
Ｉさんは自力で歩行できた。本当に良かった。
皆さんのお陰だ。
急坂を下り、吉田浜着。Ｉさんは、冷房を利かしたバスに乗車。

我々は妻良道の入り口まで歩く。昼食を終えた皆もゾロゾロ出て来た。
吉田亭に寄ってお礼をする。
今回は妻良までの予定だったが、時間がないのと残暑が厳しいので、ここでお終い。バスに乗った。

今回の反省・教訓
１．靴はくるぶしまであるハイカットのしっかりした靴を使う。
　　足が靴の中で遊ぶような靴は履かない。
２．靴下は、靴に合わせ、やや厚手のものを使用。ペラペラの靴下は使わない。
３．下着は速乾性のものを使う。木綿は絶対使わない。
４．南伊豆歩道は、携帯が入らない。緊急時を考えると無線も必要。
５．今回、ロープが無かったが、ロープは必要。
６．熱中症予防の飲み物は、「麦茶」が良い。スポーツ飲料は駄目。
７．体温計があったが、体温を計らなかった。計るべきだった。
８．前夜、睡眠は十分にとる。
９．日頃、ほどほどの訓練に励む。

（了）

吉田浜

千畳敷

落ちた大岩？？

ハマカンゾウ

付録

新聞　（第三種郵便物認可）

ジオ、国史跡にも打撃

台風19号

伊豆観光 影響続く

記録的な大雨で、広域的な被害をもたらした台風19号が上陸した伊豆半島で、基幹産業の観光業に影響が出ている。熱海市では断水で複数の宿泊施設が休館を余儀なくされている。国の史跡や世界ジオパークに認定されているジオサイトで倒木や土砂崩れなどの被害を受けていたことも16日までに明らかになった。秋の行楽シーズンを迎える中、関係者は早期復旧を切望する。

関係者、早期復旧を切望

国内有数の温泉地・熱海市では、中山間部を中心に一部地域で断水が続く。市のまとめでは、ホテルや旅館約130施設（入湯税課税ベース）のうち、16施設が休業している。

「宿泊を楽しみにされていたお客様の気持ちを思うと申し訳ない。一日も早くお迎えできる態勢を整えたい」と休業中のホテル幹部（55）。MOA美術館や一部の文化施設も休館が続いている。

日本遺産「箱根八里」を構成する国指定史跡の山中城跡（三島市）では、西の丸や二の丸に向かう遊歩道が崩れたほか、西の丸を囲む障子堀の斜面も崩落した。迂回（うかい）路があり観光への影響は少ないが、市の担当者は「来場者には安全に気を付けてほしい」と気をもむ。伊豆半島ジオパークのジオサイトのうち、南伊豆町の入間千畳敷や伊東市の城ケ崎海岸、沼津市の淡島では、遊歩道が倒木などの被害を受け、通行できなくなっている。

一時、停電の影響が出た施設も。南伊豆町の石廊崎オーシャンパークでは、電と断水が休館した。したが、客いう。スタ春雄さん（4から休みのに悩まされれから盛り前を向い

御殿場の消防など

御殿場市域行政組合どは16日、路で12日に

伊豆半島ジオパークのジオサイト「入間千畳敷」に向かう遊歩道が崩落した現場＝14日、南伊豆町入間（同町役場提供）

今夏参院選「違憲

3.00倍の1票格差

「1票の格差」が最大3・00倍だった7月の参院選は、投票価値の平等に反し違憲だとして、四国の3選挙区の有権者3人が選挙無効を求めた訴訟の判決で、高松高裁は16日、「投票価値の著しい不平等状態にあった」とし違憲状態との判断を

の訴訟で、最初の判決。原告側は不服とし同日、上告する方針を明らかにした。

神山隆一裁判長は判決理由で「3倍という投票価値の格差は常識的に考えても許容しがたい」と指摘。2017年衆院選（最大格差1・98倍）や憲法施行

差が3・08年の前回参て、18年に数6増（埼玉比例4）の について「3倍未満に弥縫（びほぎず、格差置された選挙を迎え

静岡新聞

地理院地図
GSI Maps

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　　ＧＴ
山行番	ＮＯ．１８４４
日　時	２０１９/１０/３１（木）快晴・上部風あり
山　域	赤岳（２９８８ｍ）
テーマ	赤岳日帰り
コース	起床３：４５ー長泉発５：００ー美濃戸口発６：３０ー赤岳山荘７：１５ー南沢ー行者小屋９：３６ー文三郎尾根ー赤岳１１：４１ー行者小屋１２：５７（昼食）ー南沢～美濃戸口１５：５２ー長泉
標高差	上り　美濃戸約１４８０ｍ～赤岳２８９９ｍ＝約１４１９ｍ 下り　　同上
往　復	約９時間３０分
参加者	ＧＴ（７２歳９ヶ月）、ＫＨ＝２名

赤岳日帰りは、久しぶりだった。８月の北海道以降、高山に上っていなかった。
理由は、猛暑・長雨・家庭の事情など。
この辺りでアルペン的登山をしたかった。
一口に「赤岳日帰り」というが、前夜、麓泊の日帰りもある。
長泉から日帰りが本当の日帰り。
これは、なかなか厳しい。ここ一番の気合が必要。

３：４５起床、４：００発。美濃戸口発６：３０。通常８：００ころ発だから今回は早かった。
下ってすぐの柳沢の橋は、台風１９号で流され仮橋が作られていた。従って、山は極めて静か。当然だが、いつも車で賑わっている赤岳山荘駐車場の車はゼロだった。

美濃戸

柳川仮橋

気温が９度と低くモーレツに寒い。
耳は痛く指はガジガジ。
霜柱があり、南沢は一部凍っていた。
南沢を上る。台風の影響はあまり無かった。
行者小屋着。山々に新雪が光っていた。
当初、地蔵尾根計画だったが、少雪でアイゼン使用が面倒で文三郎尾根に変更した。
こんな時期、多くの方は、チエーン・アイゼンを使っていた。
文三郎を上る。無雪期はあまり来ないが、階段が凄い。
小屋宿泊は早くも下って来る。

行者小屋

過去の記録を調べてみた。

今回　　・・・赤岳山荘７：１５～赤岳１１：３５＝４時間１６分　７２．９歳
２０１５．３．２８・・・赤岳山荘７：４６～赤岳１２：０８＝４時間２２分
２０１５．２．２８・・・赤岳山荘８：１３～赤岳１２：１２＝３時間５９分　６８歳・単独
２００９．２．１５・・・赤岳山荘７：３０～赤岳１１：３０＝約４時間
２００８．４．１３・・・赤岳山荘７：０５～赤岳１１：１０＝４時間５分　　６１歳

記録は、いずれも積雪期が多い。時間的には、ほとんど変わらないが、気温は雪山が楽。
歩行も雪山が楽。富士山登頂の記録もそうだが、年齢を重ねても案外、時間は変わらないもの。
しかし、毎回苦しいのは同じだ。
ゼーゼー・ハーハー、息が苦しく時々、立ち止まって息をつなぐ。
ただ、相方は全く息切れはない。どの様な身体構造なのか不思議でならない。
多分、心臓が強いか、肺活量があるかだろう。
マラソンが強かった話からそれが伺える。
私もそんな体に生まれたかった。

階段帯が終わると、トラバース道になる。
新雪が積もっていた。
ただ、アイゼンを使う程ではない。
上り切れば阿弥陀岳分岐。
展望が広がる。西風が強くなる。
が、冬のそれではなかった。

文三郎道

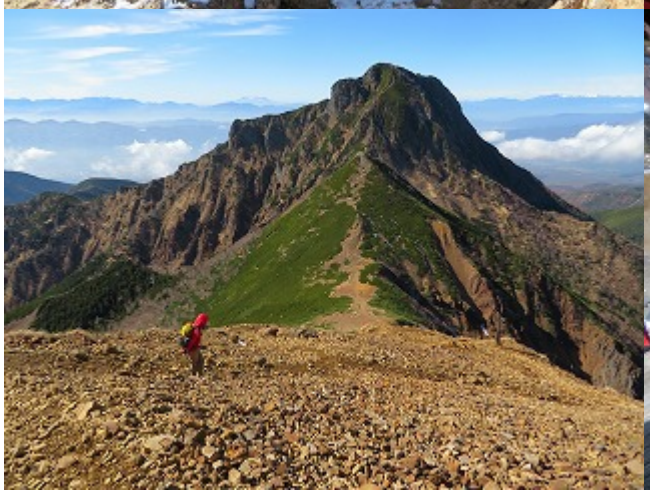
少し上った所で休憩。北岳・仙丈・甲斐駒が大きい。
駒はまだ黒い。
空腹を感じた。リンゴを頬張る。美味しかった。
上は鎖場が続く。誰かのザックが置いてあった。
空身で頂上に向かったようだ。

鎖場を上る。夏はあまり来ないが、快適な岩場だ。
真教寺尾根分岐に達したら、一人中年男性が上って来た。
聞けば今朝、東京から来たという。
時間的に速い。ここはやはり厳しい。

頂上着。登山者は少なかった。カップルの写真を撮った。
小屋でコーヒーを飲みたいがあったが、時間が押しているので下山。
厳しい山頂でユックリすると、緊張が緩むから出来ればしたくない。

下山は速い。上るとき分からなかったが結構、上って来る。
上りの休憩場所で再び休憩。
天気が良く有難い。
再び文三郎を下って、行者小屋着。腹が減った。気が付いたら
１２時を回っていた。いつも行者着は１３時ころである。

８００ーの生をやってしまった。ジョッキに「マンモス」のマークがあった。
提携しているのか。昨日収穫した、「おろぬきダイコン」が美味かった。
風がなく暖かい。イイ季節である。



下山　　マンモス・マークのジョッキ

山ブドウ

南沢を下る。歩きにくい。赤岳山荘から美濃戸に向かう。
山ブドウが美味しかった。午後の陽光に紅葉が素晴らしい。
前をカップル・夫婦・山仲間？？がイイ感じで歩いていた。
急がず焦らず。
自分も早くあのように、達観（悟り）したいものだ。
工事関係者に聞けば、柳川の車通過できる橋は、年内に出来るらしい。
八ヶ岳山荘の駐車場代は、１０００ー取らなかった。（払わなかった？？！！）
久しぶりの、赤岳日帰り。なかなか手ごたえありでした。
寄った、小淵沢「道の駅」の「ヒレカツ定食（１２５０ー）は、美味しかった。　（了）

前のお二人さん、今回の山は如何でしたか？？

行者小屋

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上　　写真・後藤
山行番	ＮＯ．１８４５
日　時	２０１９/１１/１６（土）快晴
山　域	西丹沢＝御正体山（１６８１ｍ）・東尾根
テーマ	丹沢バリエーション研究
コース	御正橋登山開始８：１２－・１１１６ｍ－御正体山１１：０２（昼食）－下山開始１１：５０－一般道－白井平分岐１２：３１－御正橋ゴール１３：５８－石割の湯１４：２０～１５：３０－裾野―長泉
累計標高差	上り　御正橋約８００ｍ～御正体山１６８１m=約８８１ｍ 下り　同上
快適度	４＝少し笹藪あり（５段階評価）
参加者	後藤、加藤、星、合谷、井上＝５名

今回の山行は先月に計画されたが中止となったものを実行した。
行きの途中、山中湖でトイレ休憩をしたが、ここの紅葉はすばらしかった。朝日を受けて輝いていた。
車中、後藤さんは、NHK の TV 番組プロフェッショナルで、プロボクサー井上尚弥のスランプの時に「基本」に戻った話に感銘を受けたと語った。では、登山の基本は何かと問いかけていた。これは、この後、ほぼ 1 日影響があった。スタートの御正橋がわかりにくく、スマホで確認すると通り過ぎていた。御正橋の向かいの広い土地の家に頼んで駐車させてもらう。（下山後、ここはパン工房であることがわかった）。

墓地から（ぼちぼち）入山

8:12 スタート。登れそうな場所を探し、墓地の中を進んだ。穏やかな尾根を登る。左手に沢があり、水の流れる音を聞こえる。
尾根の左側には朝日を受けた紅葉が光り愛でながらさわやかに歩く。今日はこの後、頂上まで

550m の急登が待っていることを知りながら、ここは穏やかに楽しむ。枝打ちで落とされた枝が邪魔で少々歩きにくい。ススキの原の中の鉄塔にて、地図上の鉄塔、送電線を確認した。

鉄塔

標高点・1116mまではなだらかな斜面。その後、笹ヤブが始まった。後藤さんはヤブをよけて登ったそうだが、2 番手以降はヤブにつっこんだ。背の高いのは手でよけられるが、短いものは刺さる。すねや腹に衣類を通して刺さってくる。
足の上げ下ろしや体の上下の動きにあわせて刺さるのでよけられない。後で見ると何か所か傷があった。ここで、後藤語録、登山の基本①「ヤブがあるときはどうするか」＝ヤブが薄い所・少ないところを探し登ること。」・・・無理に突っ込まない。
1170m くらいから急登が始まる。実際は 30 度くらいの斜度かもしれないが 45 度に感じる。後藤さんと加藤さんがずんずん先に進んだ。3 人が遅れたが、ゆっくり行こうと声をかけ、辛抱して登る。尾根を頼りに頂上を目指しており、道らしきものはない。1480m の小ピークで待っていてくれた 2 人に追いつく。

東尾根の急登

当初の計画は、下りはこの場所から登ってきた尾根の北側の尾根を下る予定だったが、尾根らしきものははっきりしない。ちょっとした地形の変化からその尾根を特定したが、のぞき下ろすよ

うな斜度だ。まあ、登ってきた尾根とそう変わらない地形だからあたりまえなのだが。残りの登りを終えた時点で一般道を使って下りるか考えることにした。
ここで、後藤語録、登山の基本②「上りの時に下りのルートを確認しておく」。ここからの急登はすごかった。まっすぐ上がるには足はハの字に広げなくてはいけないし、ジグザクに行くにもエッジを効かすのが大変。靴のエッジが効いてないとずるずると落ちてしまうので、足にずっと力が入っている。
頂上手前で加藤さんが痛めている足を休めるために立ち止まった。残り 4 人は、ゆっくりと登っていった。足はしんどいが息は切れない。頂上のほんの手前で一般道に合流した。
11:02 頂上到着。昼休憩。後藤さんが加藤さんを迎えに下り、10 分後に加藤さんの荷物を持って上がってきた。後藤さんのお酒が入っているらしい。頂上のベンチでは犬を連れた男性が一人。ちょうど交代でテーブルとベンチを使うことができた。

頂上でランラン・ランチ

後から二人組の男性が上がってきた。季節は冬に向かっており、頂上では体が冷えるので、持っている服を着こむ。そして早速ビールをグビり。後藤さんの手作り卵焼きと畑の大根サラダ、加藤さんと星さんの高山土産のみそや珍しい「こも豆腐」がふるまわれた。
加藤さんが、後藤さんに日本酒を温める。後藤さんに注いだ後のコッヘルに残ったのを少々飲んだので、めずらしく加藤さんの顔がほんのりと赤くなっていた。5 人の中で酒を飲んでいない正常な人は星さんだけとなった。
11:50 下山開始。下りは一般ルートを選択。紅葉も赤いが、私たちも赤い。とりわけ加藤さんがいつも以上に陽気で、隣の尾根に向かって「ヨロ・レイホー～～～」。
合谷さんと私に強制的に「ヨロ・レイホー～～～」。時折、右手に下山ルートの尾根が見えるが、とんでもない角度である。午後の太陽の光が紅葉をステンドグラスにして私たちを包む。下りの途中で、上りで見たような大きさの岩があった。
ここで、後藤語録、登山の基本③「山では同じような高さに同じような地形がある。このような岩は上りで見た時と同じ高さであることを示す。」井上尚弥の「基本」の影響は午後も続く。
さらに、後藤語録、登山の基本④「山では仲間で道具を分けて持つ。細引きは 6 ㎜の細ものでよ

いが 40m は必要。また医薬品も分担して持つもの。単独行では一人で全部持つが、仲間で登るときは分担できるのがいいところ。」

紅葉・黄葉・また来よう

白井平分岐で右に曲がる。すごい枝ぶりのブナや太い幹のモミがあった。モミは環境が良くない成長しないので、このあたりの環境の良さを証明しているとのこと。
沢まで下りるとよりなだらかになる。ところどころに小さな滝がある沢の流れの音は心地よい。沢の水の音と紅葉をからだじゅうで楽しんだ。
林道にでるとたくさんの別荘があらわれる。終了間際に軽自動車にのったおじさんが声をかけて

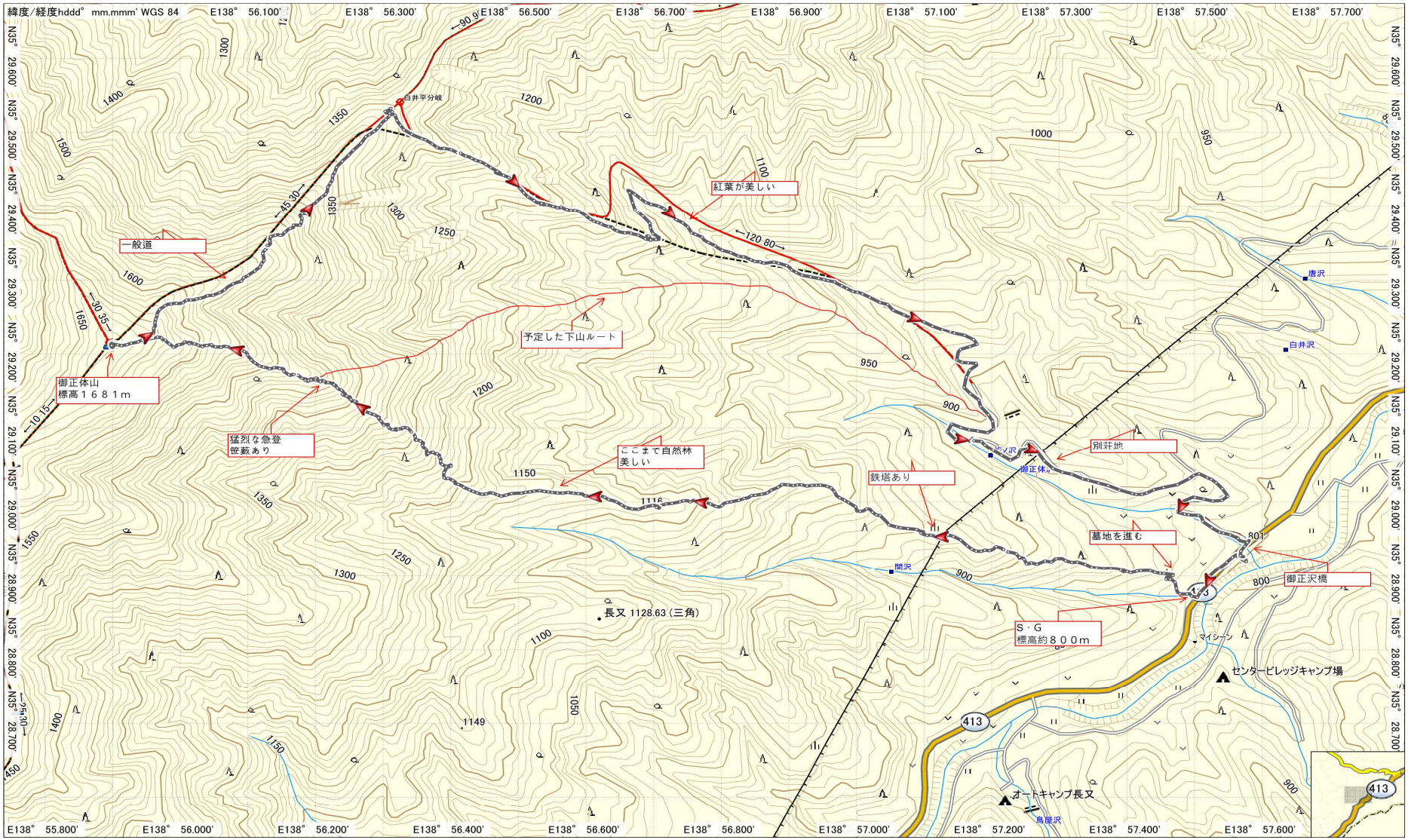
立派な菰釣山

た。この近くに代々住んでおり、今見てきた別荘の持ち主だそうだ。加藤さんが手にしていた大きな紅葉をみて、それは紅葉の中でも一番いい「十二単」だと教えてくれた。先に車まで下りていた後藤さんが、我々が遅いので迷っているかと心配して戻ってきてくれた。
13:58 駐車場着。前にも書いたが、この家はパン工房であった。道の駅にパンやシフォンケーキを卸しているそうだ。ちょうど山型の食パンが焼けたところで、加藤さんが 500 円で買ってきた。温泉に行くまでの道中、引きちぎって焼き立て食パンを味わった。
外側は暖かいだけだが、中の白いところはとんでもなく熱い。外は香ばしく、中はしっとりとこれまた贅沢を味わった。
石割の湯は、露天風呂が工事中のため割引価格で 600 円だった。今日は紅葉狩りには絶好のタイミングと天候だった。

御正体山

その他の記述（後藤）

１．藪の笹と竹の違いは？？節に「さや」が残っているのが笹、孟宗竹のように無いのが竹という。大きさで判断もあるようだが、大きさだけでは分かりにくい。今回は笹のようだ。
２．御正体山は、２００７年１１月１８日以来だった。
３．１９号台風の影響は下部の沢筋で少しあった。。
４．御正体山は、一等三角点の山。ただし、富士山は見えず、展望は良くない。
５．「こも豆腐」＝こも豆腐のあまり見慣れない形は、出来たてほかほかの豆腐を簀の子で一本づつ丁寧に巻き茹で上げてできた形です。熱湯で茹で上げることにより、「こも豆腐」の特徴である無数の気泡が出来ます。 この気泡が、通常のお豆腐では味わえない、弾力のある食感を味わえます。・・・ネット
６．別荘地の犬（猟犬？？）がうるさく、近所迷惑の感じだった。　（了）



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2019/11/17 16:59:41

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN

＊登山の記録、募集しています！！　お寄せください

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
第２５期・１０巻　　NO.２２０　　２０１９・１２月号

連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩１５４１－１２　徳山荘
０９０－８９５６～９９９０　　０５５－９８６～６０７５

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/

機関誌「れいほう」5/6 月号　　了